



サンタ新聞

NPO法人チャリティーサンタ
年次活動報告書 2021.6～2022.5



Charity Santa

●目次

- 01. 活動総括・ハイライト
- 02. 数字で見るチャリティーサンタ
- 03. サンタクロースの衣装について
- 04. 支部活動について
- 05. ルドルフ基金
- 06. サンタクロースからの手紙
- 07. 未来の手紙
- 08. ブックサンタ2021
- 09. Santa Mothers Dreams
- 10. コラム

「体験」が子どもと親それぞれに与える変化

- 11. 企業との連携事業
- 12. 自治体との連携事業
- 13. メディア掲載実績
- 14. 活動協力・連携団体のご紹介
- 15. 寄付受付結果のご報告
- 16. 2021年度会計報告

01. 活動総括・ハイライト

■ クリスマスのサンタクロースは過去最高基準に！

2021年も、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける一年となりました。

しかしながら、サンタクロースのボランティア人数が大きく減少した2020年度に対して、本年度は全国的な人数の増加もあり、過去最高規模でオンラインと対面の活動のハイブリッドでの実施を行うことができた一年となりました。
(2020年度:1,294名→2021年度:2,015名)

最終的に、クリスマスに家庭へ直接訪問する活動においては、全国30都道府県で1,587家庭の子ども達へプレゼントと思い出を届けることができ、その内、困難を抱える家庭は607家庭となりました。

ブックサンタでは寄付プログラムとして定着したことや、新しい書店の参入もあり、今年は3万冊を超えての寄付が集まりました。実施書店は新たに6法人が賛同してくださり、イオングループの「未来屋書店」は151店舗で参加、徳島の老舗書店「平惣」、洋書専門店「絵本の家」など専門書店も増える形になりました。結果として、42都道府県461店舗(18法人)でブックサンタを実施することができました。残す未実施県は、福井・鳥取・島根・熊本・長崎です。

チャリティーサンタの支部が活動しているエリア以外の子ども達にも、特別な体験とプレゼントを届けられるよう、全国の子どもを支援する団体との活動連携を行い、今年は、35都道府県の120団体へブックサンタで集まった寄付の本を贈りました。

また今年のクリスマス時期には一般世帯と困窮世帯を比較する形で「新型コロナの影響における体験」と「誕生日のあり方」の調査を実施。「子どもたちに愛された記憶を残す」という私たちのミッションから、困窮世帯の誕生日支援についても取り組んでいきます。

■ 2021年度の主なトピックス

- ブックサンタ2021 過去最高の3万5千冊の本が集まる！
 - 内閣府主催【地域創生SDGs官民連携優良事例】に選定
 - コロナ禍における困窮家庭の「子どもの体験格差」調査を実施。 ～
- 今後の誕生日の支援を本格化へ～

[→調査についてはこちら](#)



02. 数字で見るチャリティーサンタ（実績報告）



サンタになった人の数

2,015人

関係人数の合計

約50,000人



クリスマス訪問したご家庭数

1,587軒

（内、要支援家庭 607軒）



子どもの人数

2,740人

（内、要支援家庭の子ども 949人）



保育園・幼稚園・育児サークル

養護施設・病院などへのクリスマス訪問

59軒 1,852人

（内、要支援対象施設 29軒 698人）



クリスマスカード及び手紙の郵送数

1,840通

（内、要支援家庭へのギフト1,022家庭）



ブックサンタで集まった本の数

35,162冊



Santa Mother's Dream販売数

158個

※コロナ禍により
限定販売対応



企業連携数

11社

活動協力・ご協賛企業数

164団体



2021年度

寄付金総額

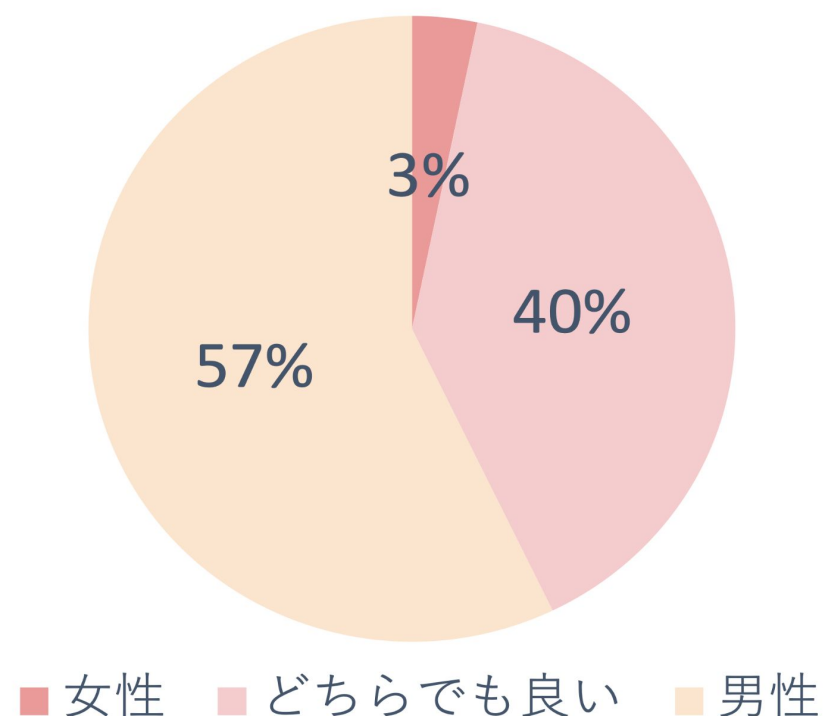
36,122,754円

03.サンタクロースの衣装について ～サンタは男性？女性？～



【サンタの性別の希望は6:4で男性多数】

2021年度お申込み：サンタクロースの性別の希望は？



チャリティーサンタが活動を開始した当時から、「**女性**は**サンタ**になれないのか？」という問合せが多く寄せられていました。

その都度、「子ども第一主義」に立ち返り「その家庭の子どもが持つサンタクロースのイメージ」をヒアリングした上で、訪問活動を行なってきましたが、14年前は圧倒的に「**サンタ**は**男性**」という要望が多かったのに対し、ここ数年、その傾向も変化しています。

女性を指定するというより「**性別はどちらでも良い**」と、回答するご家庭の割合が増えてきました。

サンタのジェンダーフリーについて、ミステリーで有名な東野圭吾さんが20年以上前に『サンタのおばさん』という短編絵本を書いています。

世界中のサンタクロースが集まる会議に、新しいサンタ候補がやってくる。それがなんと女性。各国の男性サンタは驚いて、女性のサンタクロースを認めるかどうか話し合う、という物語。

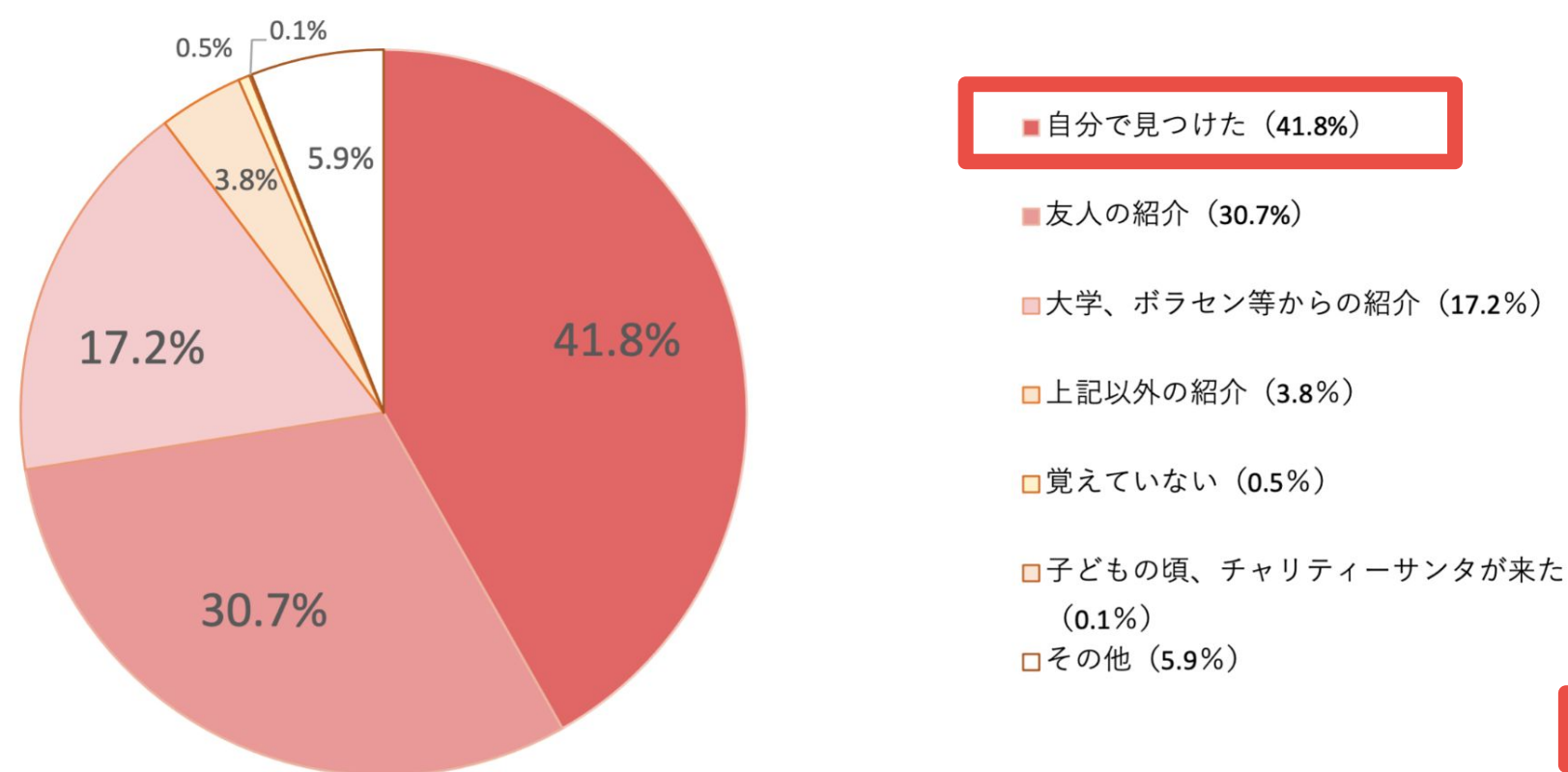
絵本の中で、世界中のサンタが、例えば肌の色の違いや季節の違いに対して話し合いで解決していったように、チャリティーサンタでも本格的に女性のサンタや、女性サンタの見た目について話し合うべき時代になってきているようです。

04-01. ボランティアによる支部活動について

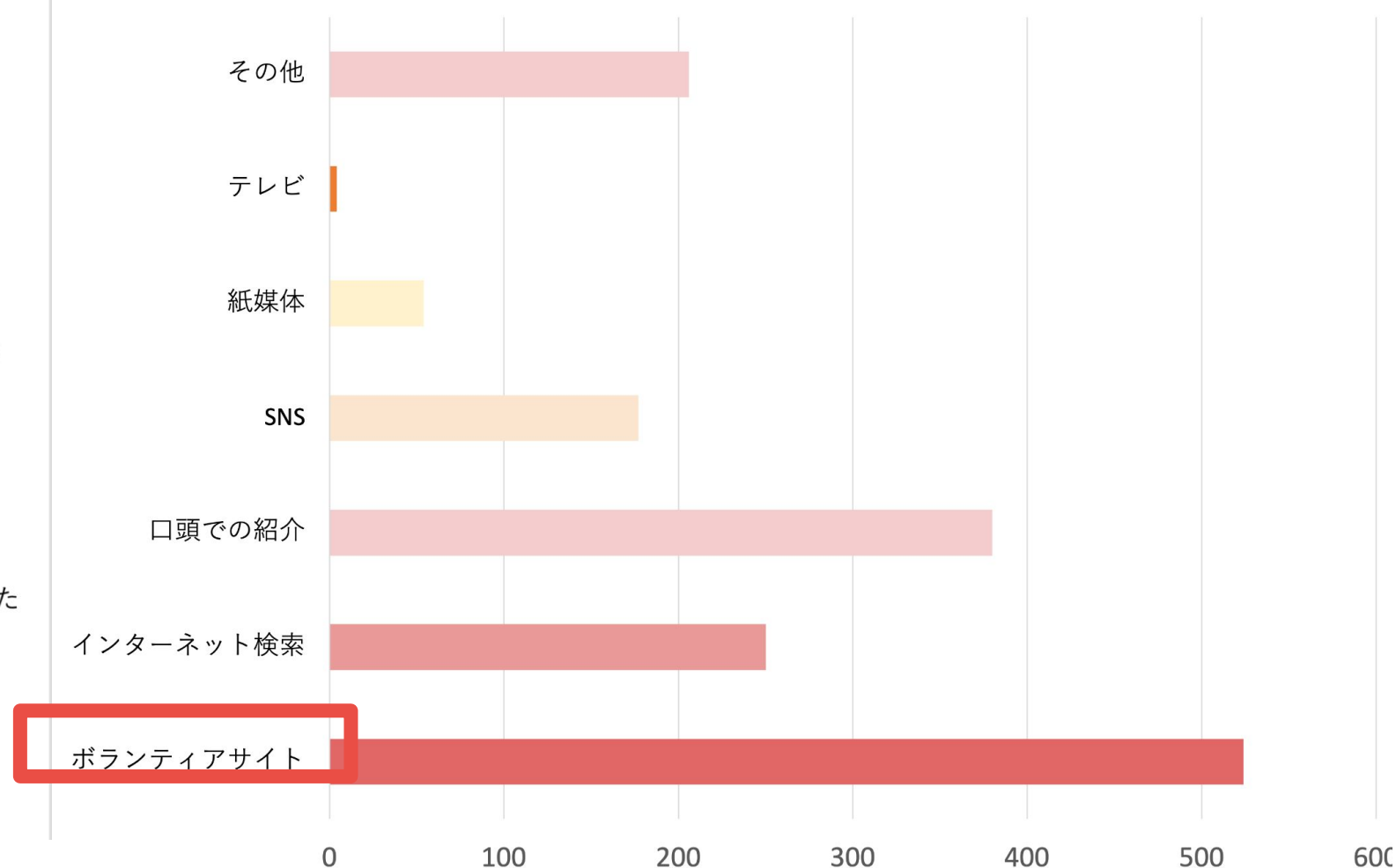
参加のキッカケは「自分で」「検索」して見つけるのが多数派。

チャリティーサンタに参加するに当たって、どこでボランティアの情報を獲得したかを尋ねると約4割が「自分で見つけた」と回答、特にボランティアサイトや検索サイトで発見したという回答が多かった。

どこでチャリティーサンタを見つけたか？



どうやってチャリティーサンタを知りましたか？



コロナ禍で導入したオンライン講習会も、一長一短。

集団で密になることを避けるために導入したオンラインによる事前講習会。気軽に参加できるという大きなメリットもありましたが、やはり対面式でしか伝わらないこともあり、対面式講習会の実施を望む声も上がりました。



講習会でのロールプレイングの時間をもう少し増やした方がいいと思います。
ボランティア同士で仲を深められるような交流イベントがあればよりよかった。
支部のメンバーとの情報交換やコミュニケーションがとれたらよかったなと思いました。
衣装の着方・髭の付け方などは動画ではなく実戦で練習したかった。

04-02.ご家庭へのサンタ訪問活動のアンケートより

おじいちゃんのように演技してくれたサンタさんの登場に、娘は緊張しながらもニコニコでした。お願いしたプレゼントの他にも心温まる手作りの手紙とお守りとお家のカレンダーをいただき、次々と出てくるプレゼントに大喜び。今も大事に飾ってます。サンタさんは優しくゆっくり事前をお願いしている話をしてくれたので、苦手なお片付けも「サンタさんと約束した」と娘なりに頑張ってます。

サンタさんは色々知っててすごーい!と帰ってからも大興奮で、トナカイもシャンシャンシャンとお迎えの音も娘には聞こえたと本当に信じています。

サンタさんと、かわいいお姉さんにお越しいただき、ありがとうございました。

息子が嬉しさのあまり「これ、夢じゃないよなあ?」と言っていた姿がとても可愛く、私たち親子にとって忘れられない思い出となりました。

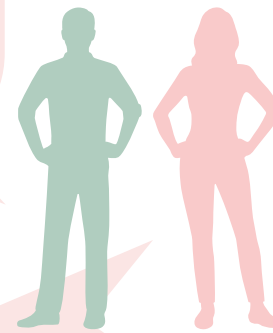
サンタさんの存在が半信半疑だった息子ですが、あんなに喜んだ顔を見られ、お願いして良かったと心から思います。ありがとうございました。

当日インターフォンが鳴るまでサンタさんが家に来ることは内緒にしていました。ピンポンとなってインターフォンに映っているサンタさんを見て出迎えてから少しの間は驚きとびっくりで隠れて近寄ろうともしませんでした。

でも、サンタさんが声をかけてくれるとお話をしてプレゼントを貰い包装を開けてみると自分の欲しかったもので大喜び&大興奮でした! 絵本やお菓子や次々とプレゼントが出てきて目を輝かせていました!

サンタさんとお別れしてからも「トナカイに乗ってきたのかな?」「雨やのにサンタさん濡れてないかな?」「サンタさん来てよかった~! サンタさん大好き!」とサンタさんの話で持ち切りでした。

親子共にいい体験になり本当にいいクリスマスになりました! ありがとうございました。



04-03. サンタ訪問活動の総括

■ 新たに神戸/大分/鹿児島支部が設立。30都道府県42支部で活動。



サンタになった人
2,015人



届けたご家庭数
1,587軒



幼稚園・保育園
育児サークル
養護施設・病院など

59軒



届けた子どもの数
2,740人



05-01.「サンタが来ない」をなくす、ルドルフ基金

■ 心の中にもサンタさんという友達を抱いて生活を・・・



「ルドルフ基金プロジェクト」では、厳しい環境の中にある子ども達へ無償でサンタクロース訪問とプレゼント提供を行っています。
「きみのところへサンタさんを連れて行くよ」という思いを込めて、暗闇を照らす赤い鼻のトナカイ「ルドルフ」の名前をつけました。

2021年度は、困窮家庭への取り組みをさらに注力した1年となりました。家庭からのニーズはさらに増え、直接支援・間接支援ともに大きく増えています。また、調査活動も例年以上に力を入れ、様々な格差や課題も明らかにしました。

[→ルドルフ基金実施報告書はこちら](#)

<2021年度 無償申込み枠にご応募いただいた皆様の声>

離婚後は生活が困窮し、精神的に不安定になってしまいました。そんな中、怪我や病気のため経済的な不安定さは変わらずコロナ渦に。

クリスマスプレゼントを買う余裕も気力もなく、一般家庭のようなあたたかい時間を過ごせておりません。

息子も諦めてはいるでしょうが、せめてサンタさんを信じている純粋な小学生時代に、夢を持たせたい。嬉しい、幸せという特別な気持ちを持たせたいという母としての気持ちがつのり、応募させていただきました。

母子家庭のため、病気の方の子のお世話で手がいっぱいになり、もうひとりの子には寂しい思いをさせています。そのようななか、私がうつ病となり医師から入院を勧められて困っていたところ、母子会から様々なアドバイスと共に今回のサンタプロジェクトについても教えていただきました。自分の家にサンタさんが来てくれたら、日常の孤独感から解放され、心のなかにサンタさんという友達を抱いて生活ができると思います。ふだんは見えない人から愛されている実感を受けることは、自分で自分を勇気づけるために必要な生きる力となり糧となると思います。

05-02.「サンタが来ない」をなくす、ルドルフ基金

■売上の一部を寄付。事業とは違う形での子ども支援を。

2021年度は、ベーカリー大手の株式会社アンデルセンが店頭で販売する対象商品の売上の一部をルドルフ基金へ寄付してくださいました(2018年～継続)。

Webセキュリティ企業のデジタルアーツ株式会社様からは「事業とは別の形で子どもたちの心を守ること」を目指し、500人の子どもへプレゼントを届けるご支援を頂きました。

AIGジャパン・ホールディングスでは、社員参加型の支援を目指し、ブックサンタへの協賛・寄付を頂き、実際に多くの社員の方が寄付・ボランティアとして参加してくださいました。

年長の息子に、当日その時までもちろん内緒にしていたので親の私がすごく緊張しました!

下の子が生後7ヶ月から別居し、3年間の離婚裁判を経て、やっと今小学生だった長女も高校生活を落ち着いて送り家族3人しあわせです。でも、特に下の子には色々な経験が少なく感じていて、、、。今回初めて来ていただいた優しいサンタさんと、優しいお姉さん本当に素敵な体験でした。

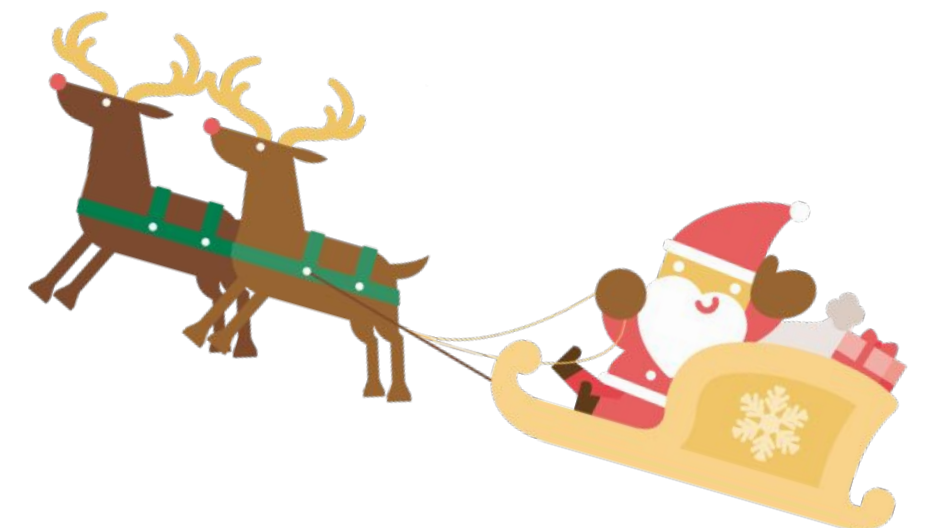
絵本の内容も、新しいことへのチャレンジが苦手な息子にピッタリの勇気が出るおはなしを選んでくださったんだなと、後からしみじみありがたく感激しました。

シングルマザーで日々、落ち込んだり疲労困憊だったり、孤独だったりしますが本当に心があたたかくなる、かけがえない体験でした。ありがとうございました!



※写真とエピソードは提供者が異なります。

- 無償サンタクロース訪問数 ...607軒
- 無償サンタからの手紙申込み数 ...1,022家庭
- 体験を届けた子どもの人数 ...2,699人



06. クリスマス前に届く、サンタクロースからの手紙

■ 自由な演出で、家庭のペースでクリスマスを楽しむツールに。

サンタクロースからの手紙は、支部がなく訪問が難しいエリアの子どもたちに「サンタクロースがやってきた体験」を届ける、親子でクリスマスを楽しむ手紙です。一般申込みの収益の一部とルドルフ基金の寄付で、思い出支援が必要なご家庭に対し、手紙を無料で申し込めるクーポンをお届けしています。2021年度は1,599通分の無償申し込みを受付し、クリスマスの思い出を作るお手伝いができました。

■ 一般申込み数 … 348通

■ 無償申込み数 … 1,599通

■ ルドルフ基金への寄付 … 186,000円

※手紙を申込む際にルドルフ基金への寄付を追加して頂いた額

・まさかサンタさんから、クリスマス前にお手紙と鍵が届くなんて思ってなかったようで、とても喜んでました！クリスマスまでの数日間、ずっと枕元に置いて持ち歩いてる姿が可愛かったです！

・母子のためか日々の疲れでクリスマスはケーキのみの夕飯でした。クリスマスらしいことはケーキだけでしたので、子供の思い出にお手紙いただいたこと大変嬉しくおもいます。

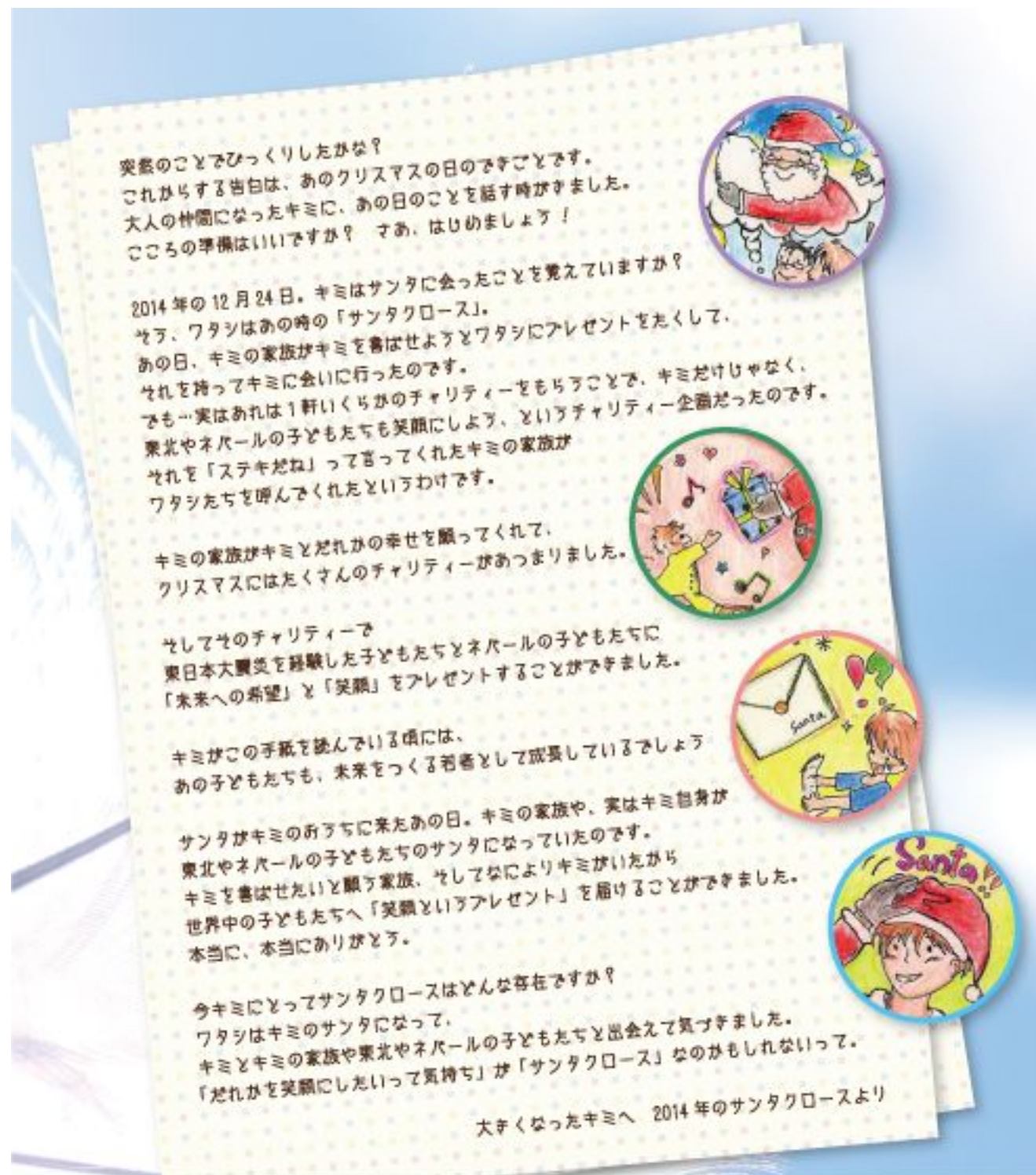
・ステキなイラストに文章、紙も上質で素晴らしかったです。私もそんな子どもの様子を見て嬉しくなりました。ステキなクリスマスの思い出をありがとうございました。

・内容も自由に編集できたので、子どもたちにそった手紙が書けたため、サンタさんどこで見ているんだろう？と驚いて感動していました。



07.「サンタが来る」から「サンタになる」へ

～未来へ送る、サンタからの手紙～



ご家庭から届いたサンタクロース卒業のエピソードは
[サンタ新聞WEB版](#)でお読みいただけます。

初めてチャリティーサンタにご依頼いただいたご家庭には「未来の子ども達への手紙」を郵送しています。
この手紙は、やがて訪れる子どもたちの「サンタクロースを卒業する日」にお渡しいただく為の手紙。
私たちが考える「サンタクロース」とは、子どもを大切に思い、笑顔にしたいと思った人たちの「優しい気持ちの集まり」です。
いつの日か子どもたちが、自分自身の大切な人と出会い「サンタクロースが来る」側から「サンタクロースになる」側になった時、誰かの笑顔の為に行動できる幸せを、きっと体験することでしょう。
そして、かつての子どもたちが、チャリティーサンタの活動に参加してくれる日を、私たちは心待ちにしています。

<2021年度>

■サンタ卒業報告

1件

■サンタになった子ども達 0支部 0名

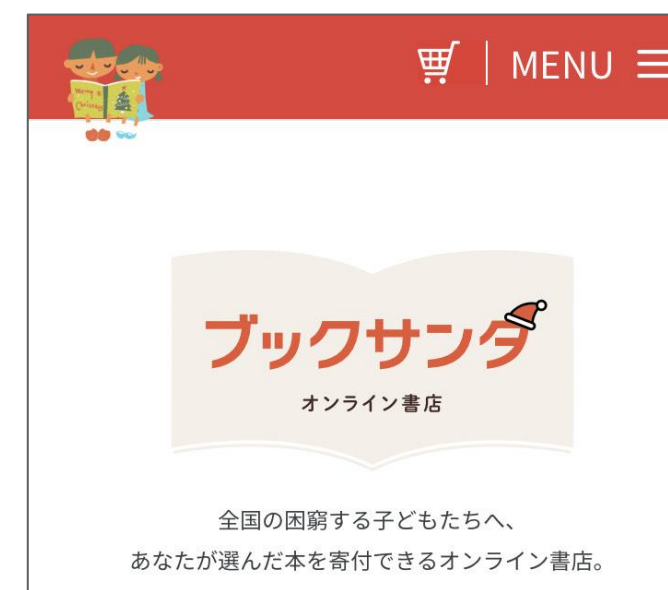
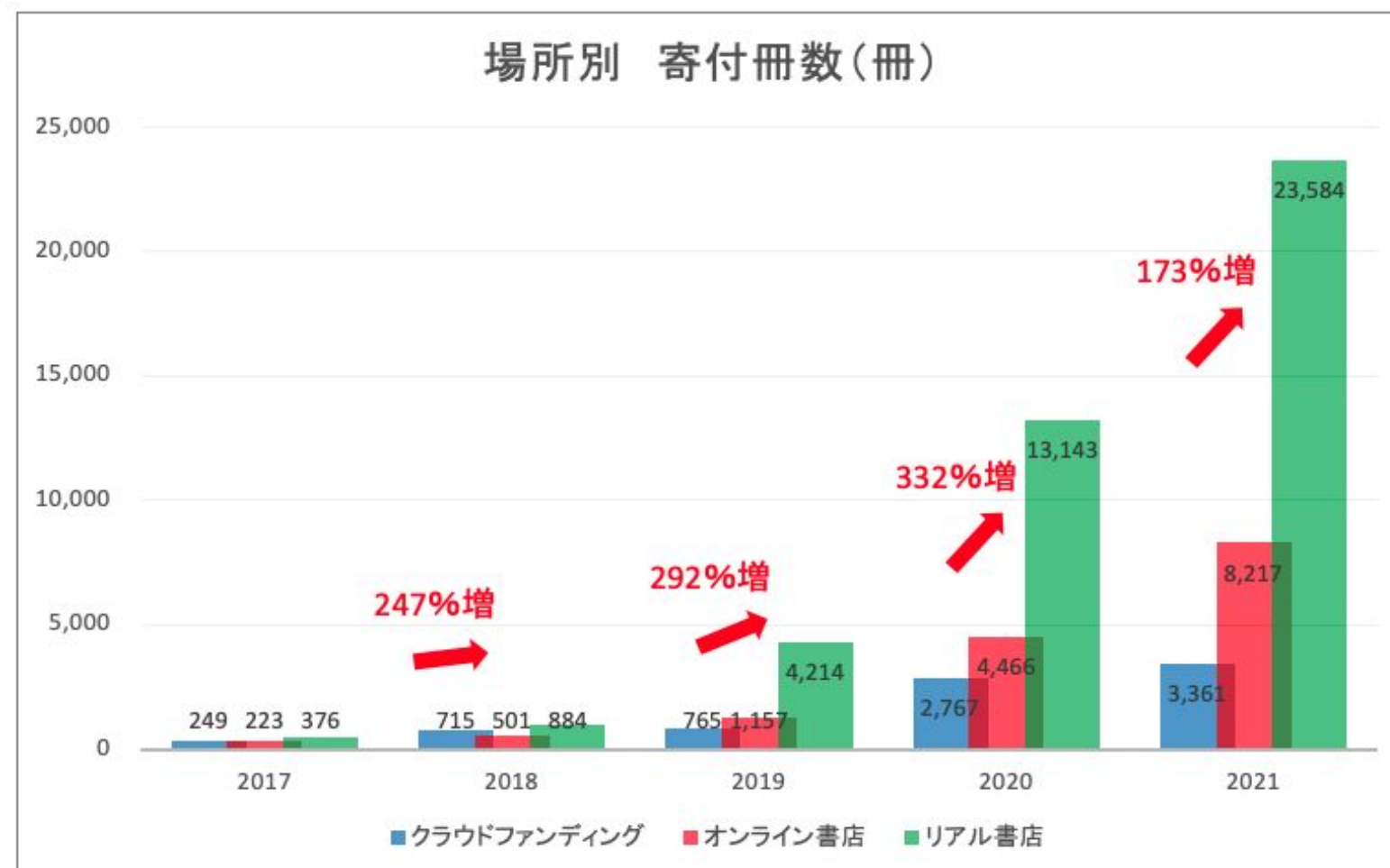
一子どもたちは、遅かれ早かれ、サンタクロースが本当はだれかを知る。知ってしまえば、そのこと自体は他愛のないこととして片付けられてしまうだろう。しかし、幼い日に、心からサンタクロースを信じることは、その人の中に、信じるという能力を養う。わたしたちは、サンタクロースその人の重要さのためでなく、サンタクロースが子どもの心に働きかけて生み出すこの能力ゆえに、サンタクロースをもっと大事にしなければいけない(中略)心の中に、ひとたびサンタクロースを住ませた子は、心の中に、サンタクロースを収容する空間をつくりあげている。サンタクロースその人は、いつかその子の心の外へ出ていってしまうだろう。だが、サンタクロースが占めていた心の空間は、その子の中に残る。その空間がある限り、人は成長に従ってサンタクロースに代わる新しい住人を、ここに迎え入れることができる。
こぐま社「サンタクロースの部屋」より

08-01. ブックサンタ2021～活動継続のため基盤強化に注力した1年～

過去最高の3万5千冊の本が集まりました！

みてね基金による助成を受け、オンライン書店の新規立ち上げ、リアル書店の寄付状況がわかるITシステムの導入、倉庫兼作業場「ライブラリー」の設置(詳細はP.15 参照)など、基盤強化に注力した1年でした。当初目標の6万冊には届きませんでしたでしたが、前年度比173%増(1.5万冊増)の35,162冊の寄付が集まりました。その結果、私達チャリティーサンタと全国各地の子ども支援団体などを通じて合計で25,101冊の本を子どもたちに届けることができました。また、クリスマス以外にも誕生日支援で子どもたちに本を届けるため、いくらかの在庫を残し通年での選書と発送を行っています。

- リアル書店: 23,584冊
- オンライン書店: 8,217冊
- クラウドファンディング: 3,361冊



08-02. ブックサンタ2021～活動継続のため基盤強化に注力した1年～

■ より多くの書店で本の寄付が可能となりました！

新たに6法人が賛同してくださり、イオングループの「未来屋書店」は151店舗で参加、徳島の老舗書店「平惣」、洋書専門店「絵本の家」など専門書店も増える形になりました。結果として、42都道府県461店舗（18法人）でブックサンタを実施することができました。残す未実施県は、福井・鳥取・島根・熊本・長崎です。



【参加書店さんのステキな工夫のひとつ】

未来屋書店和歌山店では、みなさまからお預かりした本は、レジカウンター横のプレゼントBOXにて一旦お預かりさせていただき、責任を持ってブックサンタ事務局へ届けさせていただきます 🎅🎅🎅
プレゼントBOXは透明な箱を用意していますので、ご来店の際には是非一度ご覧ください

🎄🎄🎄
#ブックサンタ

出典：未来屋書店和歌山店公式Twitter

担当者さんの声

2020年10月、埼玉県にある店舗のパートさんからの熱い思いに応えて6店の未来屋書店がブックサンタに参加することになりました。ご協力いただいたお客さまからの反響の大きさに担当窓口の私たちも驚き、翌年の2021年は全社に呼びかけをしたことで、151店舗が参加するイベントになりました。
来店されるお客さまが多い店舗だけでなく、小型の店舗でも告知をご覧になったお客さまから喜びの声を頂戴し、多くの寄付をいただくことができました。地域の人々に必要とされる書店として、お客さまに笑顔を届けるために、これからもブックサンタの取組に力添えをしてまいります。

株式会社未来屋書店 総務部 伊藤大昌

08-03. ブックサンタ2021～活動継続のため基盤強化に注力した1年～

■ 本と想いを繋いでいく場所「ブックサンタ ライブラリー」を運営

これまでは、本の管理や選書・発送作業を外部施設の一部を間借りする形で対応をしていました。毎年寄付をしてくださる方や本を届ける子ども達が増えていく中で、「本に対してのスペースが足りない」「場所に制約があり多種多様な本を子どもたちに合わせて選書しにくい」などの課題が出てきました。たくさんの方が想いを込めて贈ってくれた本を、1人1人の子ども達に合わせて届けるため、本の管理・作業に特化した場所を作りたいと考えるようになり、「ブックサンタ ライブラリー」を新設しました。2021-22年度は「みてね基金」からの助成を受けて運営しますが、それ以降はブックサンタサポーターさんの寄付によって継続して運営できる形を目指しています。



▼ 本を整理するための棚は、岡山東ロータリークラブさんより寄付をしていただきました！



ライブラリーでの選書ボランティアに参加してくれた方の声

初めは喜んでくれるのかなと少し戸惑いがありました。しかし、どんなことが好きかな？この本、気に入ってくれるかな？と子どもたちの姿を想像しながら選書していくうちに、ワクワクする活動に変わっていききました。誰かが寄付してくださった本が子どもたちの元へ繋がる、目には見えない想いを繋ぐ素敵な活動に参加出来て本当に良かったです。

08-04. ブックサンタ2021～活動継続のため基盤強化に注力した1年～

■ ブックサンタに関わるみなさんの想い

<書店で寄付してくださった方より>

私自身も活字中毒の幼少期を過ごし、今でも絵本が大好きです。ずっと手元に置いておける一冊の大好きな本が、文字通り心を救い、命を救うこともあるのを知っています。本当はこんな活動が必要とされないほど、誰もが穏やかに安心して暮らせる社会であってほしい。でもそれが叶っていないなか、ブックサンタは本当に素晴らしい試みだと思いました。わが家も経済的に苦しく、とてもささやかな額しか出せなかったのですが、この試みの一部になれたことをとても嬉しく思っています。来年も参加したいです。

<サンタさんの訪問で本をお届けしたご家庭より>

・頂いた絵本も誰かの思いが詰まったものだと思うと心にくるものがあります。子供達は保育園でみんなに自慢したみたいで。来年も笑顔で幸せなクリスマス過ごせたらいいなと思えました。

・息子が欲しがっていた絵本でしたので、有難くずっと読んでおり、朝もずっと見ております！小さい頃の楽しい思い出は大人になっても忘れないものだと思っていますので、一生の思い出となってくれると思います。寒い所本当にありがとうございました！

<本を配布頂いた連携団体さんより>

子どもたちが玄関を通り靴を脱いですぐに「わあああ！」「ママ見て！絵本だよ！」「ママ！これ欲しかったの！」と溢れ出る笑顔と共に響き渡る歓喜の声でした。「新しい本なんて中々買ってあげられる余裕もなかった。いつも中古か図書館だったので、お気に入りの一冊があって本当に嬉しいです。親の心が救われます。」というお言葉もいただきました。絵本は子どもの心を育む大切なツールです。親子のコミュニケーションはもちろん、子ども自身が読んでみたい！読めた！という肯定感を得ていく事ができる大切な時間です。昨年に引き続き私たち団体を利用している子どもたちに素敵なクリスマスプレゼントを有難うございました。心から感謝申し上げます。

<参加書店のスタッフの方より>

・コロナ禍でいいニュースばかりが耳にはいるわけではありませんが、そんな中でブックサンタに参加して下さる方が多くいらっしゃる事、我々も嬉しく思います。この気持ちがさらに多くの方に広がっていくよう、今後とも書店にできることをやっていきたいと思っています

・お客様と一緒にオススメの本を選ぶ事がありました。受付後にお客様から「(ブックサンタとして)役に立ててうれしかった」と笑顔で言われたのがとてもうれしかったです。

09. Santa Mothers Dreams ～ネパールのお母さんと作るフェルト人形～

[Santa Mother's Dream](#) (=以下、SMD)は、ネパールの母たちのため、ひいては子ども達の笑顔のために、と生まれたプロジェクトです。新型コロナによる影響は日本よりも遥かに大きく、ロックダウン(都市封鎖)による交通インフラが停止するなど、仕事場に通えない時期も数ヶ月ありました。

また直近では、ロシアによるウクライナ侵攻の影響で、急激な物価上昇で多くの人々が困っている状況です。もともと隣接するインドや中国から輸入に頼っている側面が大きく、日常生活に大きな影響が出ている様子です。具体的には、ガソリン代が値上がりした影響で、毎日通勤で使っていたバス代は2倍に。お米の値段も1.5～2倍になり、普通に仕事をして手元に残るお金がどんどん減ってしまうと女性たちが口にしている状況です。これらのことから女性たちへの支援費についても増額することに決定しました。

「通年販売できるクマのマスコット」を制作する計画は、これらの要因から当初予定よりも遅れていますが、引き続き粘り強く活動をしていきます。

以下写真は、2022年8月時点での試作品でこれからクオリティアップを目指していきます。



10.「体験」が子どもと親それぞれに与える変化

生活困窮家庭への体験支援を通してみえたもの

チャリティーサンタは、2020～2021年度の2年間、岡山市こども福祉課と協働し、生活困窮家庭への、年間を通しての体験活動の支援を行いました。2022年2月にこれまでの体験参加についてアンケート調査を実施しましたので、その結果を一部抜粋して、報告させていただきます。

【対象者：2020年8月～2022年1月に実施した体験企画への参加者881人 回答率：32.1%】

●体験参加による子どもの変化

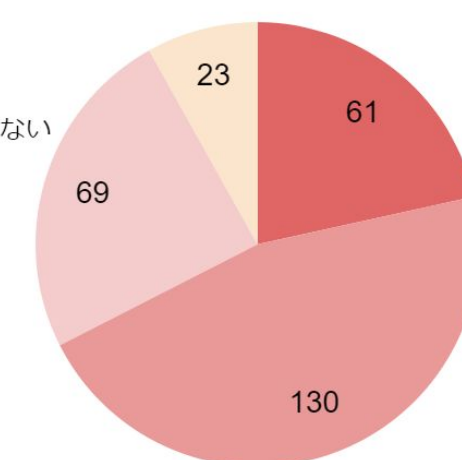
「子どもが少し自信を持てるようになったように感じるか」という問いに対して、約7割の参加者が「当てはまる」「やや当てはまる」と回答

「自分の頑張りをサンタさんが見ていてくれてプレゼントをくれたという自信を持ったようです。（子ども7歳、5歳）」

「家庭では我慢することが多い子どもたちも、参加させていただくときに、皆さんから話しかけていただけたり、しっかり話を聞いていただけることで、自分の気持ちを受け止めてもらえた喜びを感じています。まだまだ、自分に自信はない面はありますが、少しずつ大事にしていってみたいです。（子ども11歳、8歳、5歳）」

子どもの変化：少し自信を持てるようになった

● とても当てはまる
● やや当てはまる
● あまり当てはまらない
● 当てはまらない



●体験参加による親の変化

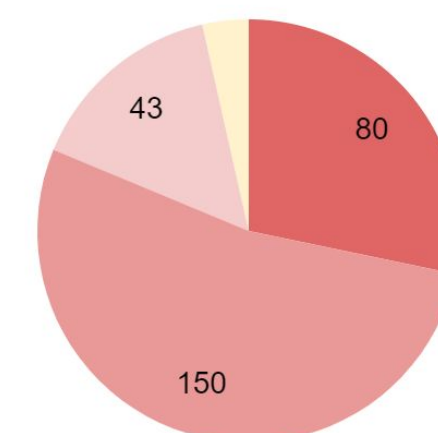
「子育てや子どもの体験活動について、人の力を借りることに少し抵抗がなくなったと感じるか」という問いに対して、約8割の参加者が「当てはまる」「やや当てはまる」と回答

「正直、自分でどうにかしなくちゃと支援や無料など気が引けて頼る事を避けてきましたが、久しぶりに子供が楽しむ姿や会話も増えてもっと積極的になってもいいかもと思えました。仕事の都合があれば本年も応募して子供も楽しみたいと思いました。（子ども14歳）」

「チャリティーサンタさんの支援活動に救われています。経済的な面だけでなく、支えてくれる誰かがいるという気持ちを持てる事で、離婚した当時抱えていた孤独感と将来への不安感を軽くできています。誰かを頼ってもいいんだと割り切って考えられるようになってから、気持ちがとても軽くなりました。支えてもらっているのは子ども達だけでなく、親なんだと痛感しています。（子ども8歳、6歳）」

全体：子育てや子どもの体験活動について、人の力を借りることに少し抵抗がなくなった

● とても当てはまる
● やや当てはまる
● あまり当てはまらない
● 当てはまらない



この事業を実施するきっかけとなった平成31年岡山市市民協働推進ニーズ調査では、支援を受けることに対して家庭が引け目に感じてしまうという事が体験参加へのハードルの一つとして挙がっていました。しかし、体験支援への参加回数を重ねることで、そういった罪悪感が減少し、むしろ自分も支える側にいつかなりたいというポジティブな意識が家庭の中に生まれているようです。

11.企業との連携事業

チャリティーサンタでは、民間企業と活動連携を行うことで、企業の持つビジネスノウハウやネットワークを活かしたルドルフ基金への募金・社員のボランティア活動参加促進など、企業のCSR活動支援を行なっております。私たちはこの活動により、社会のより多くの大人が子どもを取り巻く社会課題に気づき、課題解決の当事者として活動する機会を創出することを目指しています。

事例紹介

- ・社員に対するサンタボランティアへの参加促進活動（寄付呼びかけを含む）
- ・クリスマスの寄付つき商品の販売やイベントの実施
（収益金の一部又は全部をのチャリティーサンタの活動またはルドルフ基金へ寄付）
- ・チャリティーサンタを通じて困窮家庭へ贈るプレゼント寄付

※民間企業のSDGs活動やCSRの取り組みとしてチャリティーサンタと連携・協働頂き、自社社員のボランティア活動参加促進、寄付活動への参加促進にご協力いただきました。

連携企業様のご紹介（敬称略） 連携実績数：11社

デジタルアーツ株式会社
株式会社アンデルセン
株式会社北海道日本ハムファイターズ
AIGジャパン・ホールディングス
ヤフー株式会社
ソフトバンク株式会社
シスコシステムズ合同会社
富士ゼロックス東京かけはし倶楽部
MS&ADホールディングス
株式会社バリューブックス
株式会社城野（名古屋伏見モンブランホテル）



12.自治体との連携事業～地方創生SDGs官民連携優良事例に選定～

チャリティーサンタが得意とする「特別な思い出づくり」の活動を活かし、「子どもの貧困」問題に対して手が届きにくい「体験と思い出」の個別支援を行政と協働で行なっています。体験活動という家庭が参加しやすい手法をとることで、支援を要する親子が地域や社会から孤立してしまう前に支援の手が届くネットワークを生み出したいと考えています。

事例紹介 ～新型コロナで困りごとや不安への影響があった家庭は88%～

2019年より、岡山市(こども福祉課)と困窮世帯の調査活動を行い、調査結果に基づき、困窮する家庭の子どもと保護者へ「体験や思い出」を届ける取組をモデル事業として2年に渡り、実施してきました。2020年度から調査活動での活動と成果に伴い、困窮世帯に情報を届ける仕組み(おかやま親子応援メール※)が予算化。配信担当団体として、家庭に情報を届けて来ましたが、2022年度より、情報配信事業に加えて、体験活動等の企画と運営支援機能も施策・予算化され、モデル事業後も継続した連携ができることとなりました。

本来、子ども時代に当たり前に経験する体験が子どもの心を育みます。今後も様々な企業や団体(営利・非営利問わず)と手を取り合い、チャリティーサンタのミッションである「子どもたちに愛された記憶を届けること」を叶えるような活動を行っていきます。

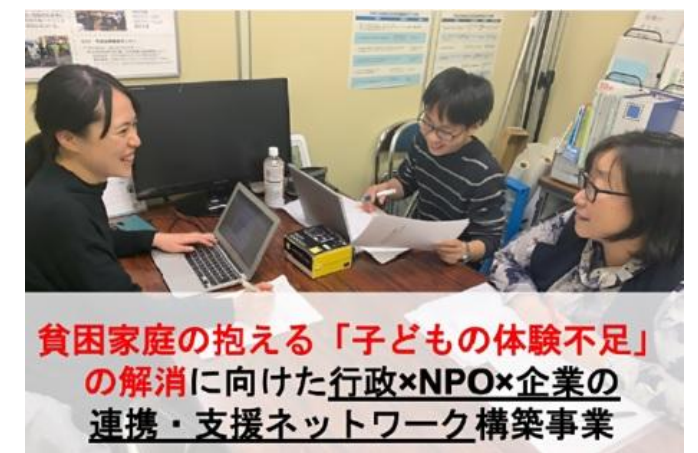
また、この一連の取り組みが評価を受け、**内閣府が主催する【地方創生SDGs官民連携優良事例】に選定**されました。

<家庭の声>

私はチャリティーサンタさんに出会わなければ、誰かに頼ったりすることも後ろめたさのままだったり、支援を受ける事への抵抗を持ったままでした。でも、素敵な企画のおかげで子供の嬉しそうな顔を見れたり、「いつまでもあの時あんなだったよね」と話す子供を見て、本当に良かったといつも思っています。同じ環境の方だけが集まっての体験企画は、気負いする事なく参加出来ました。言い表されない感謝は私はこの先も持ち続ける事になると確信しています。本当に、ありがとうございます！



事例集(URL)
<https://bit.ly/3RgmprD>



地方創生SDGs官民連携取組
優良事例(URL)
<https://bit.ly/3Q6PKE3>



※ おかやま親子応援メール
岡山市と岡山市社会福祉協議会、NPO法人チャリティーサンタ、NPO法人岡山NPOセンターが協働して令和2年7月に創設。岡山市内在住の、日常生活に困難を抱えるひとり親家庭や生活困窮家庭と支援団体をつなぐメールマガジンです。

13.メディア掲載実績

■ 多数メディアでの掲載や参加者のSNS投稿が寄付の後押しに。

2021年はブックサンタを中心にテレビ・紙媒体・WEBニュースなどあらゆる媒体でチャリティーサンタの活動を取り上げて頂きました。また、「Withコロナ時代における困窮家庭の子どもの『体験格差』について」の調査結果や、その解消のための体験活動の支援についても掲載していただきました。ブックサンタは昨年が続いて多くの皆様にSNSでも盛り上げていただき、本の寄付数は過去最高を更新しました。

媒体	掲載数	概要
テレビ	4	NHK（全国×2）、TBSテレビ（全国）、テレビせとうち
新聞	19	朝日新聞、毎日新聞×2、読売新聞、日経新聞×2、東京新聞、山陽新聞×4、共同通信（徳島新聞、大分合同新聞、京都新聞、西日本新聞、熊本日日新聞、新潟日報、下野新聞、静岡新聞）、日刊ゲンダイ
ラジオ	3	KBCラジオ、TBSラジオ、岡山シティFM
WEB	15	新聞社のWEB記事をはじめ、ヤフーニュースや教育ニュースサイト、本関係のサイトなど様々なジャンルのウェブメディアに掲載。

14-01.活動協力・連携団体のご紹介

今年も継続して多くの団体と活動連携を実施。

チャリティーサンタの支部が活動しているエリア以外の子ども達にも、特別な体験とプレゼントを届けられるよう、全国の子どもを支援する団体との活動連携を行いました。今年は、35都道府県の120団体へブックサンタで集まった寄付の本を贈りました。

後日保護者の方より、コロナ禍の影響もありプレゼントを買うことも難しい状況で、**家庭内も暗くなりがちだった時に絵本のプレゼント**があり、非常に助かりましたとの声と同時に、**子どもの笑顔**を見てあと少し頑張ろうと**前向きにとらえることができた**とのことのご報告がありました。コロナ禍の大変な中ですがチャリティーサンタ様のおかげで多くの子ども達に笑顔を届けることができて心より感謝いたします。

サンタクロースからの手紙を渡すと「サンタさんからわあ！お手紙だ！なんて書いてあるの？」とびっくりわくわく！
絵本を手に取りくるくる回り出す小さなお友達！
玄関先に座って早速ページをめくりここに顔。
その姿を見せてもらえたお母様と団体スタッフは幸せ者です。
お母様が「**絵本は高価でなかなか買えない**です。図書館も遠くて...大切に読ませていただきます」とのこと。
コロナ禍で外出が難しくなり、おうち時間を豊かに過ごす最高の絵本をありがとうございました。

驚いたのは、**自分だけの本を持った経験のない子ども**が多かったことでした。本を選ぶ子ども達の瞳はキラキラしていて、何度も何度もスタッフや保護者に「**いいの？いいの？**」と聞く子もたくさんでした。手にとり、中を少しペラペラめくり、悩み、選び、大事そうに抱えて帰る姿に、私たちスタッフもほっこり笑顔になりました。

12月25日に子ども食堂を開催しましたので、その際に絵本をお一人お一人にお渡ししました。今回の絵本はいろいろな年代にあったものを頂けたので、子どもたちに合ったものをお渡しできました。

お母さん方からも「普段絵本は借りるもので、自分の絵本というものが無かったので本人もとても喜んでいる」「冬休みに毎日読んでと言われた。」「絵本をいつも枕元に置いている」という話がありました。私たち運営側もギリギリの資金でやっている中で、このようなお一人お一人に合った**クリスマスプレゼント**をお渡しできて、とても嬉しかったです。目の前で**子どもたちの喜ぶ様子**を拝見することができました。



14-02.活動協力・連携団体のご紹介(敬称略)

■ 特別協力

認定NPO法人しんぐる・まざあず・ふおーらむ/株式会社西濃運輸 木更津支店

【ブックサタご協賛企業】

日本出版販売株式会社/大日本印刷株式会社/AIGジャパン・ホールディングス株式会社

【ブックサタご協力企業】

有限会社一進堂/株式会社いまじん白揚/絵本の家/株式会社大垣書店/株式会社積文館書店/株式会社ダイレクト・ショップ/TOUTEN BOOKSTORE/株式会社平惣/株式会社ふたば書房/ブラス株式会社/本屋ルヌガンガ/株式会社丸善ジュンク堂書店/株式会社未来屋書店/株式会社モラブス/株式会社リブロプラス/株式会社Y・space/印刷工業会 出版印刷部会 PAJらぶっく

■ プレゼント配布協力(120団体)

おかえり子ども食堂/あだちサタワーク実行委員会/水島子ども食堂ミソラ/つしまみんな食堂/子ども食堂おむすびころりん/認定NPO法人ハーモニーネット未来/一般社団法人ハートフルファミリー/認定NPO法人ふーどばんくOSAKA/ドットスタイル/公益社団法人フードバンクかながわ/スマイル♡こども食堂浦安/社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会/子ども食堂 すまいるカフェ/あつまれ前橋スポット/特定非営利活動法人子どもパートナーズHUGっこ/NPO法人 地域たすけあいの会/NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク/グリーンサポートやまぐち/NPO法人育ちあいサポートブーケ/特定非営利活動法人優里の会/認定特定非営利活動法人インクルいわて/特定非営利活動法人 日本福祉リレーションシップ協会/認定NPO法人フードバンク北九州ライファゲイン/特定非営利活動法人福祉サポートセンター山形/一般社団法人こうらくえん/社会福祉法人 富士見市社会福祉協議会/ところざわフードパントリーくらし応援「とこパン」/NPO法人にこり/ふじみ野子育て応援フードパントリー/グリーンサポートSaChi/ひとり親パートナーズ/つなぐわ/なにわホネホネ団/NPO法人フードバンクよしみ・かわじま/新宿こども食堂たんすまち/松山さかのうえ日本語学校/浜松市母子寡婦福祉会/多良木キッズサークル/子どもワクワク食堂実行委員会/こども食堂COCOKU〜RU/三好丘緑フードバンク支援センター/社会福祉法人塔ノ原福祉会/青森県社会福祉協議会/しげとう地域食堂/NPO法人台東区の子育てを支え合うネットワーク/子育て支援サークルあそびのいっぽ/みんなのえがお おたまちゃん食堂/おおいずみっ子食堂/mia forza/フードバンク調布/NPO法人フードバンクTAMA/川添こども食堂/食育レストラン晴れのひ/豊洲こども食堂/特定非営利活動法人山王学舎/ami seed/新潟県フードバンク連絡協議会/NPO法人フードバンク横浜/坂東市生活学校こども食堂/こすもす・だれでも食堂実行委員会/NPO法人ながいく/社会福祉法人みどの福祉会/特定非営利活動法人 せんなり村/NPO法人フードバンクネットワーク『もったいないわ・千歳』/認定NPO法人スマイルオブキッズ/豊川市更生保護女性会/幸町陽気こども食堂/みんなの食堂Flat/いこいスペース∞こあ まるちゃん家/特定非営利活動法人ハッピーラボ/公益財団法人日本YWCA YWCA活動スペースカーロふくしま/フードバンク熊本/越前市「みんなの食堂」実行委員会/NPO法人ワーカーズコレクティブとて(きたもとこども食堂)/公益財団法人 埼玉県母子寡婦福祉連合会/NPO法人木と風の香り/みんなの食堂/NPO法人ビーンズふくしま/一般社団法人1×1/コープフードバンク/HEROESこども食堂/NPO法人Creer/おだわら児童館連合/認定NPO法人ねりまこども食堂/子ども食堂ひまわり/WEWとかち/宮城野子ども食堂/キッチンゆぎのや/特定非営利活動法人フードバンク関西/こどもSOSほっかいどう/特定非営利活動法人まど/子どもの人権広場/こども食堂青空/NPO法人みさと/おけまる食堂実行委員会/キッズカフェ杉田/にながわふれあい子ども食堂/NPO法人たからづか子ども食堂/NPO法人えがおプロジェクト/子ども食堂だしがカフェ夢はうす/NPO法人てしおて/フロイデ〜ふれあい食堂〜/May's garden/一般社団法人やまがた福わたし/NPO法人しげまさ子ども食堂ーげんき広場ー/一般社団法人merry attic/和光市チームSDGs「わこサス」/テンプル食堂よしざき/特定非営利活動法人せいじゅん たすけあい こども食堂/やかみっこキッチン/はまはっぴー家族食堂/コスモナレシピ/山鹿こども食堂 百華/シングルペアレント101/一般社団法人ひのくにスマイルプロジェクト/天童市母子寡婦福祉連合会/山形てのひら支援ネット/一般社団法人チョイふる/団欒長屋プロジェクト

■ 地域活動協力

【生活に困難を抱える家庭への体験事業等の連携企業】

株式会社大町/株式会社ありがとうファーム/株式会社ポーラ・オルビスホールディングス/ギャップジャパン株式会社Banana Republic/ジュエリー・タナカ/ケーキ工房ポム/カバヤ食品株式会社/岡山キワニスクラブ/公益財団法人 日本舞台芸術振興会/一般社団法人日本バレエ団連盟//岡山東ロータリークラブ/公益社団法人 岡山青年会議所/株式会社ボクデン/クックチャム岡山目黒店//池田動物園/岡山ビューホテル/NPO法人岡山市子どもセンター/明治安田生命岡山支社/株式会社岡山乗馬倶楽部/一般財団法人岡山市スポーツ協会/一般財団法人トッピーリーグ連携機構/岡山市母子寡婦福祉連合会

15. 2021年度 寄付受付結果のご報告

2021年度に皆さまからいただいたご寄付は、下記の通りです。(現物寄付/活動協力を除く)
皆さまの深いご理解とご協力を賜り、ご支援を頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

寄付受付総額: 36,122,754円

ご寄付・ご協賛企業/個人の方(敬称略)

掲載の許可をいただいた方のみ

【活動運営費へのご寄付】

田中 健太/谷上 憲一/中林 純/中村 睦/坂井 真/高橋 利雄/内川 芙美子/広瀬 真実/早田 のりこ/明石 浩子/樽林 正明
清水 恵/丹田 摩由美/加藤 祐佳子/北村 つかさ//中川 篤俊/佐藤 敏和/渡部 光栄/鎌田 哲也/川口 孝子
中村 洋平/高森 祥子/長 敬史/杉山 比呂美/八谷 水彩/塚野 隆行/酒井 福子/杉浦 恵理/前田 祐輔/寺内 宏光/村上 悠
滝 ルーナ/畠中 玄彦/衛藤 みどり/片桐 慎也/中野 由紀子/JO1鶴房汐恩 ファン有志/天谷 次郎/野川 真理子/
西村 歩/東條 奈津江/下村 将基/田沢 大典/栗宇 均/隈元 香里//三上 和義/馬場 一明/鈴木 真
岡崎 淳司/西村 直也/谷口 享史/田丸 良/山田 要/落海 君江/野口 隆司/武井 浩三/佐藤 和宏/小出 雅之/有賀 洋一郎
松井 道子/永里 麻由/渡邊 央/吉村 有正/小湊 竹茂/平田 富樹/大賀 千恵/堀行 丈治/寺井 文雄
株式会社 Global Bridge Trading/やしま整骨院 宗和彦/株式会社TED 大内 亮
一般社団法人新しい贈与論 桂 大介

【ルドルフ基金へのご寄付】

高下 英樹/近藤 清美/田宮 誠/田丸 良/田中 倫子/磯部 あい/小林 諒/南 靖之/太田 よしみ/水田 恵美/竹本 陽子
Shanker Pranav/山内 美佳/半田 由紀恵/牧野 友和/蒲田 琴梨/宮脇 亜衣/山内 正敏/中村 洋平/木村 大輔
小久保 幸典/菅瀬 百友子/河原 健志朗/山田 恵子/田中 かおり/竹中 亜矢/上田 友恵/大谷 昂平/中野 由紀子
東道 幸弘/岡本 匡/加藤 朋子/宮谷 壽生/加藤 勝大/森田 秀之/神原 真央/下村 優子/外京 有美子/長 純/真鍋 美樹
福田 晃/原 ともみ/谷口 享史/諸橋 瑠依/安 世美/中島 潤子/茂呂 真弓/原田 史子/大矢 悌大/原 誠
鈴木 孝彦/山川 ふみ/木下 かおり/中村 俊介/山口 憲生/田代 一馬/井上 光幸/石本 雄真/岡部 友理子/佐藤 久実
青森ZEROライオンズクラブ 山下 広治/ 株式会社 北海道日本ハムファイターズ

【ブックサンタへのご寄付】

筑紫 彩子/玉置 敦子/小野 雅也/武井 築/市川 啓太/中畑 稔/八木 真理子/岩佐 きぬ子/鴨志田 明恵/布川 葉月
北村 亜以/妹尾 恵美/三上 哲/久山 葉子/島倉 大/工藤 紀子/但馬 健一/齋藤 美香/生田 大五郎
服部 雅史/久保 七奈瀬/鈴木 敦子/佐藤 慶/大井 由里/恒川 敦子/古江 尚美/畑 美雪/森下 拓往/岩井 恵/佐藤 あかね
齋藤 幸弘/大城 陽子/川畑 祐介/吉田 明子/野地 美千代/小柳 洋貴/半田 由紀恵/井筒 安次郎/勝見 千歳/小川 佳宏
成川 献太/上野 太郎/御園生 悠/齋藤 秀行/松浦 薫/塚田 紀子/宮田 大輔/藤木 優子/伊佐 有里/川村 麻衣子
福満 香苗/磯 悦子/西浦 幸代/小泉 とく子/石田 清司/新谷 修一/斉藤 友紀/多湖 敬子/松井 麻起子/鈴木 真
生駒 あい/青木 路/鈴木 理恵/一般社団法人ハートフルファミリー /認定NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン /新
潟県フードバンク連絡協議会 /豊川市更生保護女性会 /おだわら児童館連合 /特定非営利活動法人せいじゅんたすけ
あいこども食堂

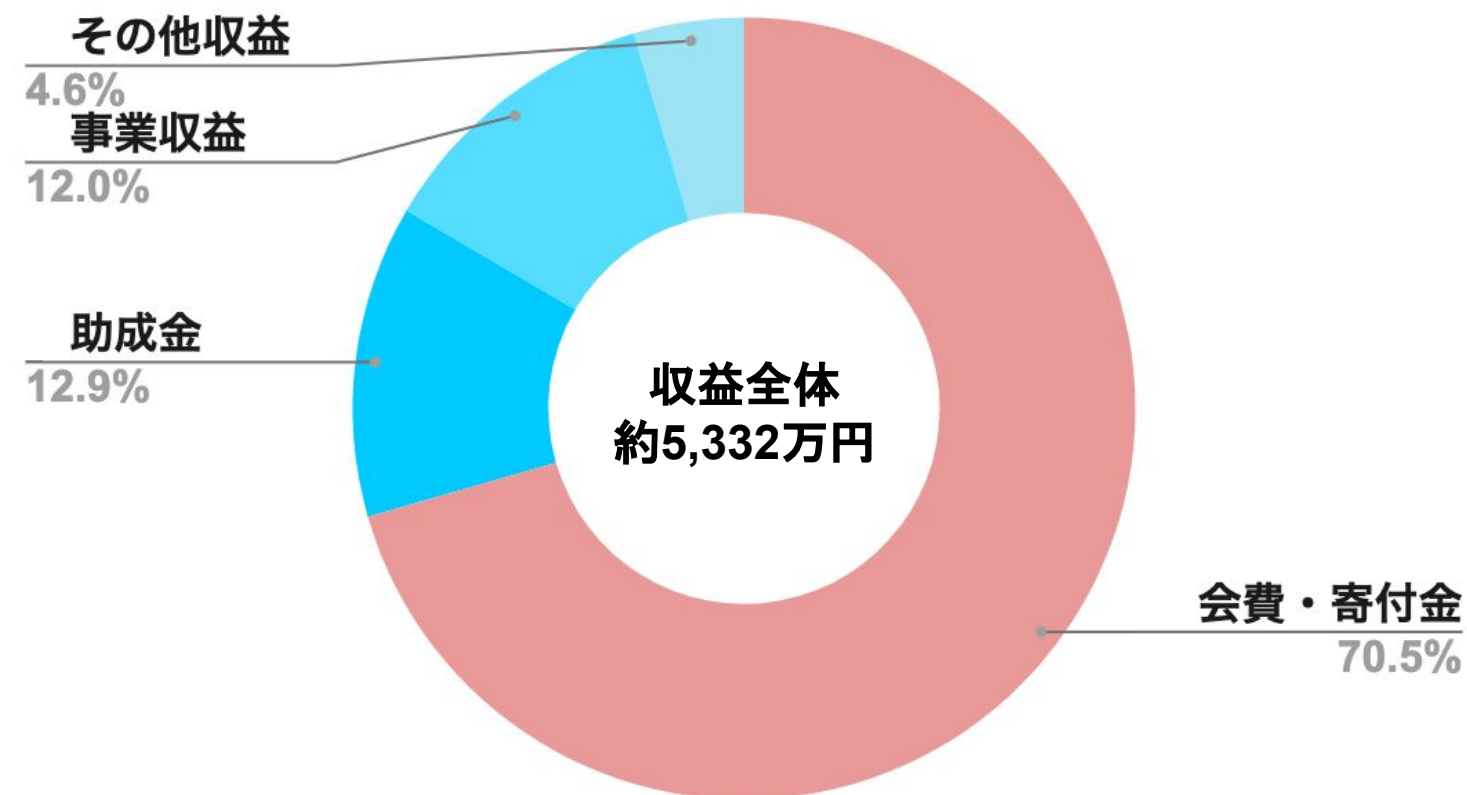


【寄付金控除に関して】「認定NPO法人」へのご寄付は確定申告の際に所得控除や税額控除を受けられます。多くのお問合わせをいただいておりますが、NPO法人チャリティーサンタは2021年度現在、認定NPO法人となっておりませんので当団体への寄付金は税額控除の対象とはなりません。
只今認定取得の準備を進めている最中ですので、最新情報は公式HPにてお知らせさせていただきます。

16. 2021年度会計報告

今年度は、収益全体で約5,332万円と前年度比1,946万円の増加となりました。その大きな理由はブックサンタで、取組全体の成長はもちろん、オンライン書店の自主運営や助成金の獲得など収益構造が多様化しました。取組の成長と同時に関連する支出金額も大きくなっています。その他にも、岡山での自治体連携を中心とした様々な取組も順調に推移し、ネパールのSMD事業での初のクラウドファンディング実施など初めての試みもありました。

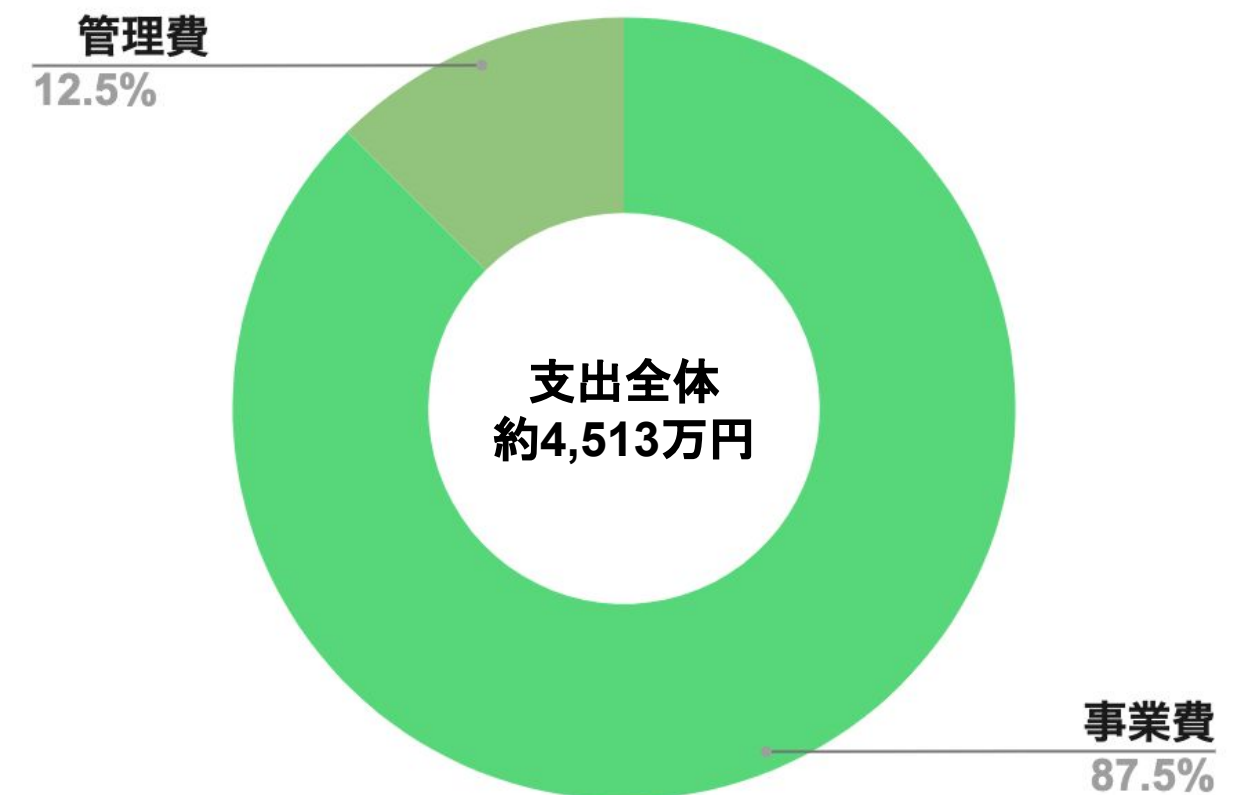
収益の部



収益のトピックス

- ブックサンタの収益構造の多様化
オンライン書店の自主運営開始、みてね基金採択決定(2021~22年度)、サポーター制度刷新
- ネパール支援(SMD)のクラファン初実施
約190万円の収益となり、新商品開発へ着手

支出の部



支出のトピックス

- ブックサンタ関連支出の増加
専用の倉庫兼作業場の開設による固定費、オンライン書店分の書籍購入費の増加
- 広告宣伝費の増加
サンタボランティアや支部運営メンバーを募る広告掲載を通年で開始。ブックサンタ広告費も増